

社会福祉法人 風祭の森

風祭の森通信

第20号 2019年1月号

社会福祉法人 風祭の森
理事長 内田 惠之
〒250-0032
神奈川県小田原市風祭563
電話:0465-24-6561
FAX:0465-21-6506
E-mailアドレス
mail@kazamatsurinomori.or.jp
ホームページアドレス
<http://kazamatsurinomori.p-kit.com/>



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年も地域社会における福祉の充実、向上に寄与するため、安心、安全と信頼のできる良質な福祉サービスの提供など社会福祉施設としての使命と責任を果たしてまいりますので、引き続き皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新年を迎えて

理事長 内田 惠之

明けましておめでとうございます。

法人が事業を開始してから、18年目を迎えることとなりました。

昨年は、「災」という漢字一字に表されるように、酷暑、豪雨、台風、地震など日本全国に大きな爪痕を残した年であったように思いますが、今年は穏やかな年であってほしいと願っています。

さて、法人が運営する事業を振り返りますと、昨年11月には、開成町に開設しました地域支援センターひまわりが1周年を迎え、着実に足柄上地域で事業を展開することが出来ました。また、重症心身障害児者施設をはじめリハビリセンター、デイサービス、相談支援事業、ヘルパー事業、放課後等デイサービスなど、それぞれが抱える課題を真摯にとらえて、その課題解決に向け事業を展開してきました。

今年も医師、看護師、介護支援スタッフ、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、保育士、相談員など多種多様な人材を大切に、職員一丸となって、評議員、理事、監事の皆さんとともに、県西地域の障害福祉に貢献すべく、その前進に向けさらなる努力をしてまいりますので、在宅障害児者の皆さんやご家族、地元自治会など地域の皆さん、家族会の皆さん、障害福祉関係機関等の皆さんのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

平成31年の新春に当たり職員から「新年の抱負」を
いただきましたので紹介させていただきます。（敬称略）



兵頭 昌樹（診療課長）

新年明けましておめでとうございます。今年は着任して2年目を迎えますが、引き続き利用者の皆さんが、安心して過ごせるように医療面のサポートをしていきたいと思ひます。

細田 梨恵（診療課）

昨年は新しい環境に慣れるのに精一杯でした。今年はいよりコミュニケーションを多くの人ととれるようにしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

北村 麻由美（看護課）

入職し、早いもので8ヶ月が過ぎました。明るく優しい職場で、心地よく働かせていただいております。本年より利用者さんの担当もさせていただくことになりました。寄り添った看護を心がけ頑張りたいと思ひますので、本年もよろしくお願ひいたします。

塩崎 悦子（看護課）

新しい年を迎えると、何処か不思議な気持ちになります。何か今年はやれるような、輝く何かがあるように思ひます。空回りしないように、まず目の前の事から！

加藤 裕次郎（生活支援課長代理）

「一期一会」、昨年より課長代理として仕事に携わり、関わる方の幅が広がりました。その中で、人との関わりを大切にしていきたいと思ひを込めて、この言葉を自分の抱負にします。

松久保 典子（生活支援課）

入居者さんが求めている支援や居心地の良い環境を提供できるように、与えられた仕事を一つひとつ確実に身に付け、更なるステップアップにつながっていくよう、勉強していきたいと思ひます。

中島 亮（生活支援課）

新年明けましておめでとうございます。介護職として15年を越えましたが、基本に立ち返り、安心・安全を確保した上で、楽しい活動をしていけるよう努めていきたいと思ひます。

栗田 智弘（地域支援課）

旧年は入職1年目で、業務を覚えることで精一杯でした。本年は利用者さんと笑顔で楽しみを共有すること、業務が円滑に回るよう助け合えるように頑張ります。

金子 麻紗美（地域支援課）

福祉未経験で入職し、たくさんの事を経験し、学ばせていただきました。相談員見習いとして、またデスタップとして、利用者さん一人ひとりを大切に、心地よく過ごせるようなサービス提供ができるよう勤めてまいります。今年もよろしくお願ひします。

和田 侑子（地域支援課）

今年はい実際に相談支援に携わる中で、精神障害の方の地域移行支援にも関わっていけたらと思ひます。「仕事も子育ても楽しむ」を目標に、こころに余裕をもって行動できたらと思ひます。

松藤 美砂子（地域支援課）

昨年8月からお世話になっております。まだまだ分からないことも多いですが、利用者さんの笑顔から学んでいけるように頑張りたいと思ひます。

大柴 朗（地域支援課）

今年はい新たな事へのチャレンジとして、介護技術のスキルアップを始め、いろいろな目標を立てて、一つひとつ達成していきたいと思ひます。



高橋 正義（地域支援課）

安全運転をモットーに余暇の釣り、麻雀、将棋等を楽しんで、心身共に健康な日常を保つべく努力したい。



永年勤続表彰おめでとうございます

10月27日の秋祭り開会にあたり、当法人で10年の永きにわたり職務に精励された功績をたたえ、永年勤続職員表彰を行い、4名の職員が受賞されました。今後も当法人発展のため、ご尽力くださいますようお願いいたします。なお、この度受賞されました皆さんから受賞の喜びと今後の抱負についてご寄稿いただきましたのでご紹介させていただきます。

上原 真由美（看護課）

明けましておめでとうございます。この度、永年勤続表彰を受けることができ、本当にありがとうございました。

「袖触れ合うも他生の縁」といいますが、入所者の方々、ご家族、スタッフとは、袖触れ合うどころか、人生の10年を共に過ごしてきたことになりました。このご縁を今後も、もっともっと大切にしていきたいと思っております。今年もよろしくお願いいたします。

石井 浩子（生活支援課）

この度は、永年勤続表彰を頂き本当にありがとうございます。利用者の皆さんに、たくさんのパワーを頂き、一緒に働く仲間がたくさん助けて頂き、この10年間頑張ってくられました。改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも皆さんと楽しい時間を過ごしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

鈴木 由加（事務課）

この度は永年勤続にて表彰していただき、誠にありがとうございます。入社してからもう10年。こんなに月日が経っていたのかと思うくらい、あっという間に時が過ぎていったように思います。日々変化する情勢の中で、まだまだ無知な部分もあり、皆様にご迷惑をおかけすることもあると思っておりますが、今後も多くのことを学び、それを皆様に反映できるよう努力してまいります。これからもよろしくお願いいたします。

長澤 こずえ（生活支援課）

この度は、永年勤続表彰を頂き、本当にありがとうございます。10年を振り返り、あるご家族の方の「子どもを預けているので、意見を言いにくい。」という言葉思い出しました。当時はもっと意見を言ってほしいと思っていましたが、私も親となり、その言葉の意味が少し分かるようになりました。

今後はご家族の方、入所者さんの声にならない思いを汲み取っていきたいとおもいます。そして太陽の門がよりよい施設になっていけるように、微力ながら努力していきたいと思っております。



右から、上原、石井、長澤、鈴木

医療安全研修会を実施

「救急蘇生法とAED操作方法」

心停止の可能性のある傷病者を発見したら、できるだけ早く119番通報と応援を求め、できる限り早く胸骨圧迫による心肺蘇生を行い、またAEDを用いて電気ショックを行い、救急隊員に引き渡さなければなりません。心停止から1分ごとに救命率は7～10%低下するようですので、早い段階でこのような行為を行うことにより社会復帰に大きく貢献できると言われています。

当法人では今年度、医療安全研修として「救急蘇生法とAED操作方法」の研修を全職員が受講しています。万が一、自分の身の回りでこのような場面に出くわしたときに、早急に対処できるよう職員一人ひとりが真剣に取り組んでいました。

このように当法人では、各研修に力を入れ職員の資質向上に努力しています。



家族会だより

太陽の門 家族会会長 天野 隆博

旧年中は多くの方々に大変お世話になり有難うございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

30年続いた平成もこの4月30日で終わり、5月1日からは新しい元号に変わります。平成という聞きなれない元号に変わったのが、つい先年と思っていたのが、もう30年経ってしまいました。

私達の家族会も結成後もう16年を経過しました。その間に入所者では3分の1近くの方が亡くなられ、家族ではそれ以上の方が入所者の死亡で退会されたり、亡くなられたりで新しい方に代わってきています。親が亡くなられて兄弟姉妹が保護者になる場合には、その兄弟姉妹の方に家族会への継続加入をお願いし、幸い多くの方に継続加入を承諾して頂いています。また、新しく入所された場合は家族会への入会を個別にお願いしています。

しかし、いろいろな事情から家族会の会員数は、発足当初から比べて年々減ってきています。もちろん家族会の活動は数だけのことではないことは承知していますが、不安や悩みを共有出来る仲間を出来るだけ増やし、お互いに助け合っていきたいと願っています。

入所者ご家族との安否確認訓練を実施（防災）

近年、自然災害（地震、風水害、土砂災害等）が各地で発生しており、甚大な被害が報道されています。

そこで、万が一、このような災害が発生した場合を想定し、施設の状況と入所者さんの安否状況をご家族にお知らせするとともに、ご家族の安否を確認できるように、NTTの電話回線を利用し、安否確認訓練を実施いたしますので、ご参加くださるようよろしくお願いいたします。



編集後記

新しい年が始まりました。今年の干支は『つちのとい己亥』
己亥の年は「次の成長に備える年」だそうです。
自己を高め、内部の充実をはかり、我々も更に成長できるよう
努力してまいります。
本年もよろしくお願いいたします。